

## 令和7年度 第3回学校運営協議会

### 議 事 録

日時 令和8年3月4日(火) 13:30~16:00  
場所 岡山県立勝間田高等学校 記念館3階会議室  
(委員15名のうち、13名が出席)

#### 1 開会行事

##### (1) 校長挨拶

- 委員の出席と、日頃の学校運営への支援・協力に対し感謝を表明した。
- 今年度の主な取組と課題について評価と意見、来年度に向けた方向性の協議を依頼。
- 今後の学校行事について説明。

##### (2) 会長挨拶

- 工業団地の人手不足状況について言及された。
- 少子化・若者流出を背景に、学校の在り方の根本的議論を主張された。学校の存在が地域活力に直結する点を強調された。

##### (3) 事務局より

- ①本日の日程
- ②配付資料の確認
- ③その他連絡

#### 2 令和7年度 学校運営に関する評価

##### (1) 教育活動報告

- 生徒募集状況
- 令和7年度学校運営協議会意見申出書の説明
- 進路状況
- 令和7年度の主な事業と予算(執行状況)
- リブランディング活動の報告について

##### (2) 質疑応答

###### 【議長】

職業理解、見学の拡充等でミスマッチと早期離職リスク低減につなげる。地元企業のニーズに応えるためにも、求められている人材の情報を生徒に伝えることが大切である。

###### 【進路指導課】

生徒個々の事情を丁寧に把握し、ギャップを小さくするための取組について説明。

###### 【委員】

就職先一覧から専門教育の成果が感じられる。

(3) 学校評価

- 学校評価書
- 学校自己評価アンケート

質疑応答

【委員】

制服着用や身だしなみの乱れ、規律意識低下への懸念が示され、改善が求められた。

【生徒課】

生徒・保護者・学校間の意識差を課題として認識。3月のスクールミーティングで、ルールのあり方を生徒と共に検討することが示された。

【委員】

これからの時代で情報発信は大切なので、情報発信の継続をお願いしたい。

【委員】

町内の小学校や中学校で行われている「子どもの良い点を認めて伸ばす取組」の効果を共有。

【議長】

学校評価書の4つの項目について項目ごとに評価を行っていききたい。まず1の「学力向上」の項目についてはいかがか。

1 学力向上 …自己評価と同様の評価 B で賛成

【議長】

次に、2の「生活習慣の確立」についてはいかがか。

2 生活習慣の確立 …自己評価と同様の評価 B で賛成

【議長】

次に、3の「進路実現」についてはいかがか。

3 進路実現 …自己評価と同様の評価 B で賛成

【議長】

最後に、4の「情報発信・広報」についてはいかがか。

【委員】

A評価が2つあるので、全体評価はAでいいのではないか。

【議長】

全体の評価についてどうするか。

4 情報発信・広報 …自己評価はBだが、評価 A で賛成

【議長】

次年度の評価観点について何か提言はないか。

→意見は出なかった。

～ 6分休憩～

### 3 令和8年度学校運営基本方針協議

#### (1) 令和8年度学校経営計画書(案)

##### ①説明

##### ②質疑応答

###### 【委員】

過去のイメージにとらわれず、学校の改革をさらに地域や保護者に浸透させるため、現在の取り組み状況について伺いたい。

###### 【校長】

生徒の自己肯定感を高め、自分たちの活動に誇りを持てるようにすることが重要である。

###### 【事務局】

三者協定に基づき、勝央町やしょうおう志援協会と連携して様々な取り組みを継続している。学校自己評価アンケートにおける「地域連携」の項目で、学校全体として地域と連携・協働した管理が充実しているという評価が上昇している。「どんどん生徒を地域に出した方が良い」「地域に出すと子どもは意外とやれる」という声が寄せられている。

###### 【委員】

地域見守り活動で「高校生の方が挨拶してくれる」との声があり、最近は小学生の挨拶が減っている。小中連合会でも挨拶運動重視の方針があり、「町全体で挨拶運動を展開すべき」との意見が多い。高校の生徒と連携し、通学時間の重なるタイミングで挨拶運動を共同展開してみてもどうか。中学生が高校進学を検討する時期に高校生の活動を見る機会は有益なのではないか。

###### 【委員】

学校自己評価アンケートで「安心して生活できる場」「落ち着いて授業を受けられる」「授業の分かりやすさ」「コースの特色が魅力的」の「実習・校外学習の達成感」について高く評価。現在のコース制がうまくいっていると思う。

中学校ではボランティア参加数が減少傾向にある。コロナ禍で地域との距離が生じ、ボランティアの定義や進め方の整理不足が原因。高校と関わる場面が少なく、可能な範囲で高校・地域との関わりを広げたい。

###### 【委員】

地元での丁寧な挨拶の積み重ねが評価につながる。ボランティアや小学校支援など外から見える活動の継続が必要である。小中学校では職場体験で外部メンバーを招聘し面接練習等を実施している。高校でも就職前面接に外部人材活用を活用してみてもどうか。

また、経営計画書の中の外部環境の弱みとして、私立志望や通信制課程希望の増加を入れられてはどうか。

###### 【校長】

入れさせていただく。

###### 【議長】

##### ③承認または修正

承認

(2) 令和8年度主要事業予算

①説明

②質疑応答

【議長】

工業団地企業との交流事業の具体的な動きはあるのか。

【委員】

企業側は、インターン等受け入れはあるが、「学生ともっと深い話をしたい」と言われている。見学先で企業と深く対話できる場の設置を考えている。

③承認または修正

承認

(3) 令和8年度教育課程について

①説明

②質疑応答

質問なし

③承認または修正

承認

4 情報交換等

【議長】

全体を通して、来年に向けて何かご意見やご指摘があればお願いしたい。

【委員】

他県の情報共有として、「エッセンシャルワーカー育成」の取り組みが紹介。

【委員】

アスパラガスの関係で、一番の課題は粉末に加工処理することだったが、勝間田高校でも対応が可能となったため、令和8年度からは対応をお願いすることになり、引き続きよろしくをお願いしたい。

【委員】

SNS等で勝間田高校の活躍をよく見させてもらっている。学校評価アンケートの集計結果は生徒へもフィードバックされているのか。アンケートを集計するのであれば、集計結果をフィードバックした方がいい。評価の乖離（例：ルール・マナー）について双方が「なぜ」を話し合うことで、より寄り添った状況になるのでは。

【議長】

ぜひみんなで共有してほしい。問題意識を共有することで次につながると思う。

【委員】

勝間田高校には多様なコースがあり、いろいろな学びできることが素晴らしい。就職につながる学校であるということが認知されることが大切。私たちの役割も、企業とのつながり強化や、離職率改善に向けた生徒支援ができたらと考えている。

リブランディング会議でも話題になるが、県南からの特色ある学びを求める生徒受け入れ体制不足している。寮の設置が難しく、下宿の可能性、既存建物活用、生徒の財政的負担軽減策の検討が必要ではないか。

7 閉会行事

(1) 校長より

(2) 事務局より

①来年度の学校運営協議会について

委員の任期は1年だが、再任は妨げないため、3月に打診

②その他

来年度の入学式の案内 4月9日(木) 9:30開式